

1年間のサービ斯拉ーニング活動を振り返って

社会福祉学部社会福祉学科2年 山田 沙穂理

活動先：NPO 法人 ふれ愛

クラス：村上 徹也 先生

私がサービ斯拉ーニングのゼミを希望した理由は、将来どんな分野に行きたいのか自分の中で定まっていなかったため、入りたいゼミがわからなかったのだが、サービ斯拉ーニングでは、将来のことを考えるための参考になるような活動ができるのではないかと考えたからである。ゼミが決定してから最初にあった春休みのNPOの見学バスツアーで、私は初めてNPOに訪問させていただいた。そこで初めてNPOがどんなものなのかを知ることができた。

本格的にゼミが始まってすぐに自分の活動先が決まった。私は児童福祉に少し興味があったので、もやいという活動先に行きたいと考えていたが、予想以上に希望が重なったことと、子どもだけでなくいろんな分野について視野を広げることも必要だと思い、ふれ愛という高齢者の施設で活動することになった。

実際に施設で活動するにあたって、どんな活動をしていくかを考えることは、結構大変なことだったように感じる。運動機能や知的能力が低下している高齢者の利用者さんでも楽しめるための工夫など、いろんな配慮が必要であると学んだ。私が活動させていただいたふれ愛では、毎日の日常生活の中にある1時間半程度のレクの時間を、私たちにらせていただいた。事前訪問をして、自分たちの考えてきたレクの内容を職員さんに話すと、レクをうまく進めるための的確な助言をしてくれてとても助かった。特にビンゴは、数字ではわかりにくいので、イラストを使った簡単なビンゴを教えていただき、みんなで楽しめるビンゴを作ることができた。私は、ビンゴは難しいからできないとあきらめるのではなく、どうすればできるのかを考えて工夫をすることがすごく大切なことだと思った。利用者さんのできることに目を向けることで、いろんなことが可能になるし、利用者さんにとってもできることを可能な限りすることはリハビリにもつながるので、そういう視点はとても大事であると学ぶことができた。

実際の活動では、はじめは本当に緊張してどうしたらいいかわからないことが多かった。そのせいで、利用者さんとうまく関わるのが全然できなかった。1日目は折り紙をレクの時間にやって、利用者さんと一緒にひとつひとつ順番に折り紙をして利用者さんにも喜んでもらうことができた。職員さんのサポートがすごく上手だったから、うまく進めることができたと感じた。でも、利用者さんが喜んでいる姿を見ることができてすごくうれしかったし、達成感を感じることもできた。活動をしていくうちに、だんだん利用者さんとの接し方もわかってきて、レク以外の自由な時間にも積極的に利用者さんに関わるできるようになった。ただ隣にいて、話をするだけでもとても喜んでくださる方もいて、私は何かしようか思わなくてもいいのだと分かった。高齢者だからといって何かしてあげなきゃいけないというわけではなく、普通に困っていたら助ける、というような意識で接するといいのではないかと思った。利用者さんとの関わりの中で、自分ができることをするだけでも利用者さんは喜んでくれるし、こんな頼りない存在でも役に立てるということを

実感できて、こういう気持ちが施設で働く人たちのやりがいになっているのかもしれないと思った。

また、レクを楽しんでもらおうと色々考えたが、自分たちも一緒に楽しみながらレクをすることが、一番利用者さんも楽しめるレクになると分かった。自分が楽しめば、その楽しい気持ちが伝わって結果的にみんなで楽しいレクができるのだと分かった。

私自身はレクを通して、積極的に動くことができるようになったように感じる。はじめは緊張してレクを進めるのもうまく出来なかったのだが、活動をしていくうちに大きな声でハキハキとした態度でレクをすると利用者さんも聞いてくれるし、レクがやりやすいと分かり、恥ずかしがらずに自分から積極的に行動できるようになった。私はもともと積極的に行動するのは苦手な方で、レクがちゃんとできるかとても不安だった。でも職員さんのサポートやアドバイスのおかげで自分の殻を破ることができ、よかったと思う。

コミュニケーションの面でもはじめはすごく戸惑ったのを覚えている。初対面の人と会話をするのが得意ではなかったので、何を話せばいいのか全く分からず、ただ時間が過ぎてしまうこともあった。当たり前だが、利用者さんは一人ひとり個性があり、その人にあったコミュニケーションを心がけることが必要であると気付いた。またその人が好きな話題や思い出話などに興味を持って、話を広げていくことで会話が続いていく。利用者さんが楽しく一日を過ごすためには、話しかけてくれるのを待っているだけではなく、やはり積極的な行動が必要であると感じた。

6日間の活動を通して、毎日振り返りながら反省をしていくことの大切さを強く感じた。毎日ちゃんとその日の振り返りをしたことで自分の成長につながっていったと思う。サービスラーニングの中で、振り返り学習をととても大切にしている理由が改めてよくわかった。

今回私が活動をさせていただいたふれ愛さんは、デイサービスとグループホームがあり、認知症や体の不自由な方などさまざまな症状の高齢者の方がいて、職員さんが働いている様子を見ているだけでも、とても勉強になった。利用者さんの中には、気難しい方もいらっしゃったが、少しのことでは動じない強さがあり、とてもカッコいいと感じた。私だったら、少し利用者さんが不機嫌なだけでも臆病になって、どうしたらいいかわからなくなってしまいうだろうなと思った。不機嫌な方や気難しい方をうまくその気にさせてしまう職員さんは本当にすごいと思ったし、それも技術だと思った。

人間は誰でもいつかは老いていくものだから、ふれ愛さんのような施設は社会にとって必要不可欠な存在であると改めて感じた。社会的なニーズの高い施設で活動させていただき、学んだことをこれからの実習や将来のことを考えていくときなど十分に活かしていきたいと考える。